



日本共産党・前県会議員

2021年11月15日

加藤なを子



県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

TEL 0466-25-4776 FAX 25-4761

国民の声が生きる政治に

引き続き、頑張ります



10月31日投開票の衆議院選挙。共産党の議席は残念ながら、10議席と2議席減となりました。藤沢・寒川の選挙区は、野党共同候補の共産党も応援した阿部知子さんが当選しました。皆さんに投票していただいた比例代表南関東ブロックでは、畑野君枝さんは及びませんでした。志位和夫委員長の議席に結びつきました。

私は1日、山内市議と応援したくださった方々に選挙結果の報告に歩きました。皆さんから託された共産党への願いや政権交代への期待、政治とお金の問題への追求、そしてかかげた公約実現に向けて当選した共産党の国会議員、そして私たちも全力で取り組みます。来年7月は参議院議員選挙です。あさか由香予定候補当選のために、みなさんと力を合わせて頑張ります。

保育制度の改善で手厚い保育の実現を

共産党の提案

大切なことは、お金の心配なく子どもが育てられること



子どもの発達を保障するためには、安心して預けられる保育園があり、制度が整っていることが必要です。子どもの命を守る保育環境が整い、命や健康が守られることです。共産党は保育制度の改善、親の働き方の改革、認可保育園の増設、保護者負担の軽減を提案しています。

なを子の花だより

今週はざる菊



善行団地入り口のバス停のそばに、斎藤さんの「ざる菊の畑」があり、花が見頃になっています。毎年、見事に咲き誇り皆さん楽しみにしている場所です。自由に入り、見学することができます。ポットマムと呼ばれる種類で、株の最初は1本で成長し、枝分かかれし、その先に花をつけます。1株で、1000～2000個の花が咲くそうです。以前、斎藤さんから株を分けていただき、美化ネットの花壇に植えましたが、何かコツがあるのかこのように丸くなりませんでした。花の色は黄色から赤、さらに薄いピンクや白へと咲きだすそうです。

感染者が減っている今だからこそ

できるコロナ対策は



日本共産党の「コロナから命を守る緊急提案」は、すべての患者に症状に応じた治療を届けることを大原則にしています。コロナ病床の確保、臨時の医療施設の大規模な設置、在宅患者への往診や訪問看護、さらに財政支援や待遇改善など政府が責任をもって医師、看護師を確保することを、緊急に提案しています。

検査の拡充 エアロゾル感染対策

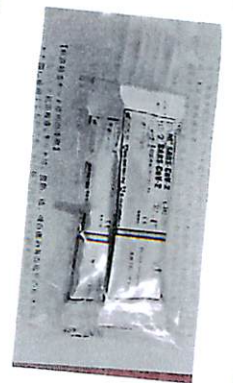
WHO は今年 4 月、エアロゾル感染を主要な感染経路に位置づけ、接触感染は稀としています。ところが厚生労働省は、エアロゾル感染を主要な感染経路と公表していません。今後は、エアロゾル感染対策に力をいれ、換気の徹底への支援が必要です。CO²モニターについては二酸化炭素濃度 800 PPM未満を良い換気としていますが、学校の基準は 1500 PPM未満が基準で、この見直しが必要です。

検査の拡充についても、感染者と同じ空気を共有した方は検査を行うべきです。さらに福祉や保育施設、教育現場で働く方々の定期的な検査も重要です。

神奈川県は、小学生以下の子どもがいる家庭に抗原検査キットを2個ずつ配布

少しでも症状があれば、自宅で抗原検査キットでセルフチェックし、陽性なら出勤、通学せず、医療機関に行くとりくみです。使用したら追加で配布するよう求めています。ふたたび、感染爆発や医療崩壊を起させないためにも、公的病院の民営化や統廃合、病床削減は中止、保健所機能充実、医師・看護師の処遇改善など求めるよう求めましょう。

10月8日藤沢市の新婦人（県本部からも2人参加）は、藤沢市教育委員会と市長に、コロナ対応や子育て関連の要望をし、教育委員会と懇談もしました。要望の中に「追加の抗原検査キット」もありました。その後、「2個とも使用して、ご家庭になくなりましたら、担任までお知らせ下さい。新しいものをお渡しします。」と各家庭にお知らせがあったそうです。よかったです。



(抗原検査キット)

待ったなしの気候危機対策へ！

湘南台駅での対話から

私のところに政策チラシを受け取りにきてくれるのは、お仕事帰りの女性と、女子学生さんです。気候危機対策は、まったなしの地球規模の課題です。どんな政策なのか興味を持ち、気候危機を真剣に捉え、共産党に期待を寄せてくれているのでしょうか。

危険な原発再稼働や石炭火力発電は中止させ、脱酸素・省エネ・再エネで、2030年までにCO²削減にとりくみ、子どもたち、若者の未来を守りましょう！

